

令和3年度

# 学校評価

## (自己評価)

## (学校関係者評価)

山梨市立日川小学校

《 本校における学校評価の実施手法 》

① 自己評価

- ・評価項目 → 校長を中心に検討 → 策定
- ・教職員による評価の実施(12月)
- ・児童アンケート及び保護者アンケートの実施(12月)
  - ・児童アンケート及び保護者アンケートの結果を踏まえて、自己評価書を作成

② 学校関係者評価

- ・保護者, 地域住民が, 自己評価の結果を踏まえて評価
- ・本年度の実施 → 学校運営協議会7名による評価
- ・実施時期 2月21日(月)

③ 評価結果の設置者への報告 山梨市教育委員会へ(2月下旬)

## 令和3年度日川小学校学校評価の結果（自己評価書）

### I 教職員による自己評価と児童・保護者アンケートの平均値の比較

1 学校経営について		教職員	児童	保護者	最大較差
1	学校教育目標	3.6		3.6	0.0

\* 今年度も、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた取組や、多様で複雑化した教育課題に、全校体制で対応していくことが求められました。学校では、調和のとれた役割分担と全職員の協働で、学校の教育目標の達成に向け、計画的・継続的に取り組んでまいりました。その取組を学校だよりや学年だより等とおし、保護者に向けてお伝えしてきました。これからも私たちの教育方針をご理解していただけるよう、引き続き積極的に情報発信をしていきたいと思ひます。

2 確かな学力・健やかな体の育成の取組		教職員	児童	保護者	最大較差
2	分かる授業づくり	3.5	3.4	3.5	0.1
3	学びあいのある活動を取り入れた授業	3.4	3.2	3.3	0.2
4	個に応じた支援・指導	3.8	3.3	3.3	0.5
5	楽しい英語の授業づくり	3.3	3.0	3.3	0.3
6	家庭学習の習慣化	3.7	3.3	3.1	0.6
7	体力向上の習慣化	3.3	3.3	3.4	0.1

\* 今年度は、新型コロナウイルス感染症予防の対策を講じながら、できる限り従来の教育活動を行えるように工夫をしてきました。ICT端末を積極的に活用したり、新聞を活用した授業に挑戦したりするなど、分かる授業づくりに励んできました。また、保護者に向けての授業参観や校内での一人一実践授業公開、外部指導者を招いての授業研究を行い、指導力向上に向けて組織的に研究を深めることができました。今後も多くの授業実践の成果を活かし、子どもたちに理解しやすい授業の実現に向けて、不断の授業改善を進めていきたいと思ひます。

\* 個に応じた支援や指導について、三者（教職員・児童・保護者）間で認識の較差が見られます。意識して教師側が声をかけ、分かるまで丁寧に指導をしているつもりでも、児童には伝わっていないことがあると考えられます。分かる授業づくりには、個別の支援も大切な視点ですので、児童一人一人の学習状況を正しく把握し、指導に活かせるよう尽力していきます。

\* ここ数年課題として挙げられた英語科の授業づくりが、今年度も改善が必要であることが、数値として明らかになりました。児童が楽しく英語の授業に参加できるよう、ALTやJTEと連携し、教職員の指導力の向上を図っていきたく思ひます。

- \* 家庭学習の取組については、三者（教職員・児童・保護者）間で認識の較差が見られました。昨年度から取り組んでいる「生活リズムチェックカード」の取組の様子から、メディア視聴時間が長い児童は、学習時間が短いか、就寝時刻が遅いかのどちらかの傾向が読み取れます。メディアコントロールに関しては、ご家庭の協力が必須です。また、家庭学習は、確かな学力を支える大切な取組の一つですので、家庭学習の習慣が身につくよう、引き続き学校でも取組をしていきますが、ご家庭におきましてもぜひ生活習慣の見直しと声かけをよろしくお願いいたします。

3 豊かな心の育成の取組		教職員	児童	保護者	最大較差
8	協調性を育む教育	3.6	3.2	3.5	0.4
9	児童のよさを伸ばす指導	4.0	3.0	3.3	1.0
10	「特別の教科 道徳」の充実	3.7	3.2	3.3	0.5
11	いじめに対する対応	4.0	3.5	3.3	0.7
12	あいさつの励行	3.2	3.3	3.3	0.1

- \* 「児童のよさを伸ばす指導」について、今年度も児童・保護者と教職員の認識における較差が大きい結果となりました。この結果を受け、「子どものがんばりやよさを認める声かけ」について学び、児童のよさを認める場面を逃さぬよう意識して取り組んでいきます。また、保護者の方にも児童一人一人のよさを伸ばす指導をしていることをお伝えする努力も併せて行えるよう努めていきます。
- \* 今年度も、学級力向上プロジェクトへの取組を重視し、子どもたちの心の育成を進める取組をしてきました。また、「特別の教科 道徳」の授業では、道徳的な価値観を醸成し、豊かな心の育成の充実を図ってまいりました。ただ、学校評価の結果から今後も引き続き道徳的実践意欲を高める授業の工夫をしていく必要があると感じました。今後も、多様な形態の道徳授業や子どものよさを見取る評価の研究を進め、教育活動全体での道徳教育を進め、一層の改善を図っていききたいと思います。
- \* 日常の観察や生活アンケートなどから生徒指導上の諸問題を早期発見できるよう全校体制で努めてきました。しかし、いじめに対する対応に関して、保護者と教職員の認識に隔たりが見られました。保護者の平均値が低いのは、教職員側の対応に不満が若干あるためではないかと思えます。この結果を真摯に受け止め、いじめに対する対応について、生徒指導主任を中心に組織的に且つ迅速に対応することを再確認しました。「いかなる理由でもいじめはいけない」という毅然とした対応を心がけていきますので、お子様のご家庭での様子から心配されるような状況が見られた場合は、遠慮なく学校へ相談してください。

4 安全・安心で快適な学校づくり		教職員	児童	保護者	最大較差
13	楽しい学校づくり	3.5	3.3	3.6	0.3
14	安心・安全な環境づくり	3.6	3.4	3.6	0.2
15	「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化	3.6	3.1	3.2	0.5
16	悩みや相談への親身な対応	3.5	3.2	3.4	0.3

- \* 学校では、新型コロナウイルス感染症の対応マニュアル、安全計画や防災計画、危機管理マニュアルを見直しました。また、多様な時刻、場所、態様による避難訓練を実施したり、日常の安全点検を行ったりし、その改善の措置を取ることで安全な学校環境づくりに努めてまいりました。今後も引き続き、安全で快適な学校づくりを心がけていきます。また、施設や設備面の安全を担保するだけでなく、児童の心の安定を保つことにも心を配らねばなりません。今年度もスクールカウンセラーを配置し、子どもたちや保護者、教職員の心理の支援が継続して行うことができる、教育相談の体制を整えてまいりました。今後も、児童が相談しやすい雰囲気や体制を全教職員で共通理解し、子どもたちの気持ちに寄り添った生徒指導や教育相談を全校体制で行っていききたいと思っております。
- \* 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化について、児童・保護者と教職員間で較差が見られました。教職員は、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化が図れるよう指導をしているが、実際のところ、なかなか「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身につけていない児童が多いのでしょうか。生活形態の変化もあり、一概に全家庭が一律同じようなリズムで生活することは難しいと思っておりますが、寝不足をしてイライラしたり、授業中うとうととしてしまったりする子どもたちの姿を見かけます。規則正しい生活習慣は、心の安定をもたらします。お子さんが、元気よく「いってきます」と笑顔で出かけられるよう、ぜひ子どもたちの家庭での過ごし方に目を向けていただきたいと思います。
- \* 日川地区は、体育振興費の協力をはじめ、学校教育への関心が高く協力的な地域です。コロナ禍ではありますが、感染症対策を講じる中、今年度は若手農業後継者による農業を身近に感じるための食育や生活科のまち探検、大川倉横結操法の継承等で地域との交流を深める機会を持つことができました。地域の方々との関わりをとおした体験活動の重要性が謳われている今、やはり大切にしていきたい活動です。一日でも早く新型コロナウイルス感染症が収まり、また地域に根差した教育が例年のように行える日々が来ることを心待ちにしております。

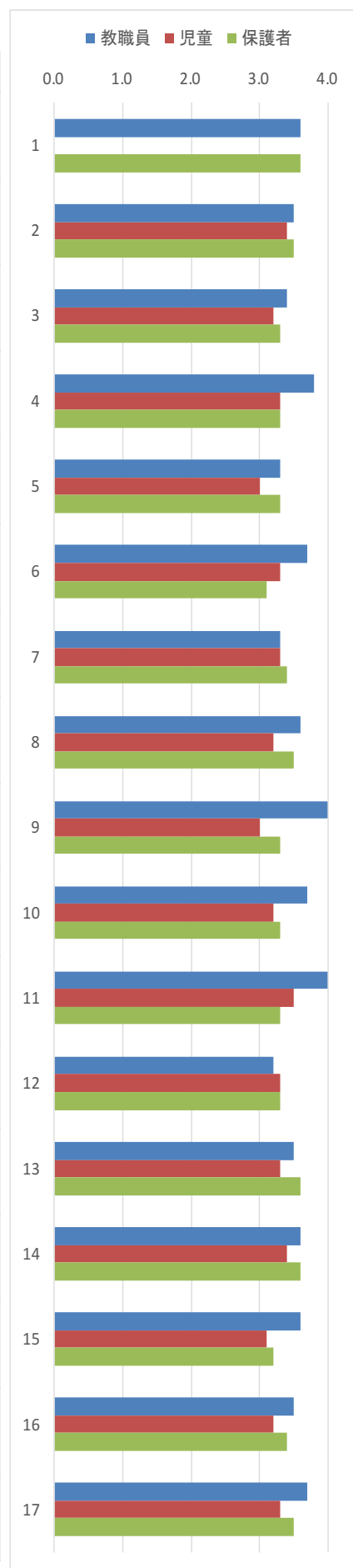
#### ◎まとめ

アンケート結果から学習指導上の課題点として、家庭学習の習慣化と楽しい英語科の授業づくりが挙げられます。また、学校運営上の課題点としては、いじめに対する対応について検討する必要があることが分かりました。アンケート結果や自己評価から見えてきた本校の教育活動や学校運営上の課題点については、真摯に受け止め、その改善に向けた措置をとっていきます。「社会に開かれた学校」や「信頼される学校」であるためには、学校と家庭、地域の皆さまとの連携は極めて重要です。学校評価も連携を深める一つの方策として捉えていただき、今後も本校の教育へのご協力をお願いします。

## II 教職員による自己評価と児童・保護者アンケートの平均値の比較

		教職員	児童	保護者	最大較差
1	学校教育目標	3.6		3.6	0.0
2	分かる授業づくり	3.5	3.4	3.5	0.1
3	学びあいのある活動を取り入れた授業	3.4	3.2	3.3	0.2
4	個に応じた支援・指導	3.8	3.3	3.3	0.5
5	楽しい英語の授業づくり	3.3	3.0	3.3	0.3
6	家庭学習の習慣化	3.7	3.3	3.1	0.6
7	体力向上の習慣化	3.3	3.3	3.4	0.1
8	協調性を育む教育	3.6	3.2	3.5	0.4
9	児童のよさを伸ばす指導	4.0	3.0	3.3	1.0
10	「特別の教科 道徳」の充実	3.7	3.2	3.3	0.5
11	いじめに対する対応	4.0	3.5	3.3	0.7
12	あいさつの励行	3.2	3.3	3.3	0.1
13	楽しい学校づくり	3.5	3.3	3.6	0.3
14	安心・安全な環境づくり	3.6	3.4	3.6	0.2
15	「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化	3.6	3.1	3.2	0.5
16	悩みや相談への親身な対応	3.5	3.2	3.4	0.3
17	保護者・地域との連携・協働	3.7	3.3	3.5	0.4

平均値 3.6 3.3 3.4



### Ⅲ 教職員による自己評価の集計（12月実施）

4・・・ そう思う 3・・・ だいたい思う 2・・・ あまり思わない 1・・・ 全く思わない

項目	番号	質 問 項 目（ 17 問 ）
----	----	-----------------

（ ）内数字は、評価平均 小数第二位切り捨て

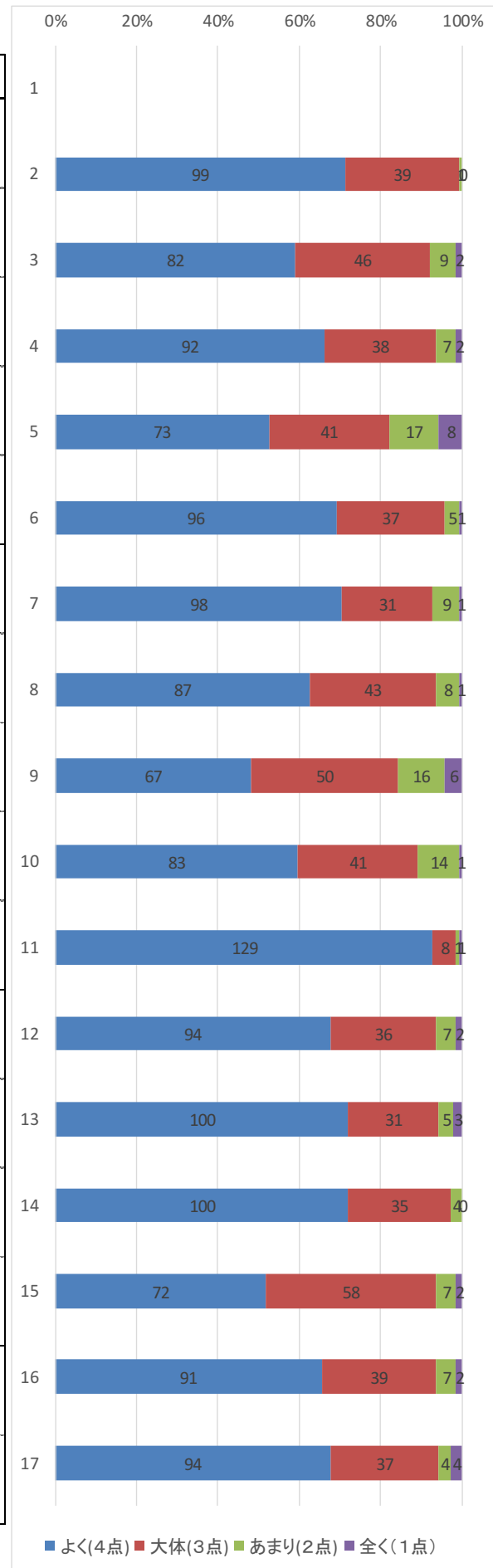
		平均値
1	学校だよりや学年だより等で教育方針を分かりやすく伝えるよう努めている。	3.6
2	分かる授業づくりに努めている。	3.5
3	児童の学びあいができる学習を取り入れた授業づくりに努めている。	3.4
4	一人一人の児童のニーズに応じた指導・支援を行っている。	3.8
5	楽しい英語の授業づくりに努めている。	3.3
6	児童が家庭学習にきちんと取り組むように工夫している。	3.7
7	児童の体力の向上に努めている。	3.3
8	児童が友達と仲良く過ごせるようにしている。	3.6
9	児童のよいところを認めるようにしている。	4.0
10	道徳科の授業を計画的に行っている。	3.7
11	どんな理由があってもいじめはいけないと指導している。	4.0
12	児童は、笑顔であいさつをしている。	3.2
13	児童が学校生活を楽しめるように努めている。	3.5
14	児童が安心・安全に生活できるよう環境を整えている。	3.6
15	児童が「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめ、規則正しい生活習慣が身につくよう指導している。	3.6
16	児童に寄り添い、共感的に理解をしている。	3.5
17	保護者や地域の方と積極的に連携して教育活動を行っている。	3.7

#### IV 児童アンケート 集計結果【R3.12月実施】

対象:全校児童139名 回答率:100%

	平均値
2 授業がよくわかる。	3.4
3 授業では、自分の考えを発表したり、話し合ったりしている。	3.2
4 先生は、一人一人に声をかけてくれる。	3.3
5 英語の授業は、楽しい。	3.0
6 家で、宿題や自主学習をきちんとやっている。	3.3
7 進んで体育や休み時間などに、体を動かしている。	3.3
8 誰とでもなかよくし、協力をしている。	3.2
9 自分には、よいところがあると思う。	3.0
10 道徳の学習で学んだことを生活に活かしている。	3.2
11 いじめはいけないと思う。	3.5
12 お家の人や地域の人にあいさつをしている。	3.3
13 学校は楽しい。	3.3
14 学校では、安心して勉強や生活ができる。	3.4
15 「早寝・早起き・朝ごはん」をしている。	3.1
16 困ったときに相談できる先生がいる。	3.2
17 地域のことを学んだり、地域の人といっしょに学んだりすることは楽しい。	3.3

全体平均値 3.2



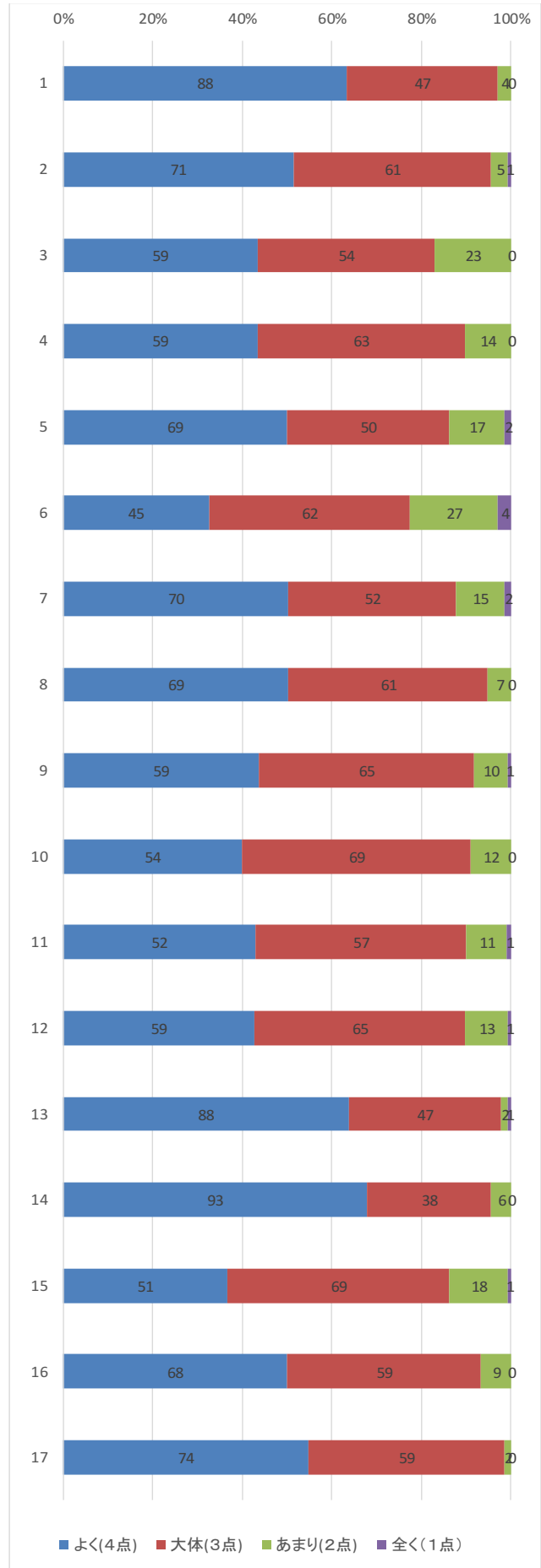
\* グラフ内の数値は、人数を表しています。

## V 保護者アンケート 集計結果【R3.12月実施】

対象:全保護者(兄弟姉妹を含めて)139名 回答率:100%

	平均値
1 学校は、学校だよりや学年だより等で教育方針を分かりやすく伝えている。	3.6
2 お子様は、授業が分かりやすいと言っている。	3.5
3 学校では、話し合い活動のある授業が行われている。	3.3
4 学校は、一人一人に合った授業や支援をしてくれている。	3.3
5 お子様は、英語の授業を楽しんでいる。	3.3
6 お子様には、家庭学習の習慣が身についている。	3.1
7 お子様には、体づくりの習慣が身についている。	3.4
8 お子様は、誰とでも仲良くしている。	3.5
9 学校では、お子様のよさを伸ばす指導をしている。	3.3
10 学校では、道徳科の指導など、心の教育を充実させている。	3.3
11 学校は、いじめに関する対応に力を入れている。	3.3
12 お子様は、家族やまわりの大人にあいさつをしている。	3.3
13 お子様は、楽しく学校に通っている。	3.6
14 学校は、子供が安心して生活できる環境づくりに力を入れている。	3.6
15 お子様には、「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が身についている。	3.2
16 学校は、子供の悩みや相談に親身に対応している。	3.4
17 学校は、保護者や地域と連家・協働した活動を行っている。	3.5

全体平均値 3.4



\* グラフ内の数値は、人数を表しています。



**1 学校や学年の教育目標**

- ・ 校長先生の「くすのき」通信楽しみにしています。
- ・ まちコミなどでお知らせが届くので大変助かっています。
- ・ いつも子ども達のために、たくさんの労力を使ってくださり大変感謝いたします。体温チェックカードなど、お便りがとても見やすく、分かりやすいです。
- ・ 子ども達のためにいつもありがとうございます。毎日学校に楽しく通っており、コロナ禍の中でも先生方のご尽力のおかげだと思っております。この状況下ではなかなか保護者が学校へ赴くことができず、学校の様子が見えづらいところはあると思いますが、いつか元の生活に戻ったときに、地域に根ざした日川小であってほしいと思います。

➡ 貴重なご意見ありがとうございます。今年度も新型コロナウイルス感染症の感染状況に左右され、保護者の来校する機会が減ってしまい、学校での子どもたちの姿が「見えない」ことが多く、不安になられたご家庭もあったかと思えます。今後は、お便りだけでなく、マチコミメールも併用しながら、旬の情報をお伝えしていきたいと思えます。

**2 わかりやすい授業**

- ・ 授業中の子どもたちのざわざわした声で集中できない所があると話の中で出てくる事があります。落ち着いて授業を受けられるよう調整して頂けたらと思えます。
- ・ 担任の先生の授業がとてもわかりやすいと言っています。
- ・ わからない児童に対しても一人一人対応してくれるそうです。ありがとうございます。
- ・ 少し勉強の進み方がゆっくりの気がします。

➡ 貴重なご意見ありがとうございます。いただきましたご意見を参考に、もう一度学習規律について見直し、落ち着いて学習ができるよう好ましい学習環境づくりに注力していきます。今後も引き続き研修を重ね、教師の授業力の向上に取り組んでいきます。

**3 学びあい活動**

- ・ なし

**4 児童への声かけ(個別指導・支援)**

- ・ なし

**5 楽しい英語授業**

- ・ なし

**6 家庭学習の習慣化**

- ・ 習い事をしているのは、個人の判断ですが、宿題が多くて少し大変な日があります。おかげで、家庭学習の習慣は、ぱっちりですが、、。
- ・ 少し宿題が多い気がします。平日習い事が多いので、平日は少し減らして欲しいです。

➡ 貴重なご意見ありがとうございます。家庭学習について、本校だけでなく山梨市内の小中学校において、継続した学習を自主的に取り組める習慣が子どもたちに身につくよう、（取組方法は異なりますが、）市内統一の取組として実施しております。本校では、学年に応じ家庭学習の時間の目安を決めており、低学年生は10～20分、中学年生は30

～40分、高学年生は50～60分となっております。確かな学力を身に付ける一つの手立てとして、家庭学習に取り組んでおりますので、限られた時間の中で取り組む大変さはあるかと思いますが、趣旨をご理解いただき、ご家庭においてお子さんが机に向かう時間を少しでも確保できるよう、ご協力くださいますようお願いいたします。

#### 7 体力向上の習慣化

- ・ なし

#### 8 協調性を育む教育

- ・ なし

#### 9 子どものよさを伸ばす指導

- ・ なし

#### 10 心の教育の充実

- ・ 他人を傷つける言動を簡単にしてしまう生徒がいるようです。どんなに小さな出来事でも根気よく向き合って正していくことが、子ども達皆が心身共に健康に成長していくうえでとても大切だと思います。先生方にはいつも丁寧に対応して頂き感謝しています。家庭でも子どもと丁寧に関わりながら、より良い学校生活になるよう見守っていきたいと思っていますので、これからもよろしくお願いします。

⇒貴重なご意見ありがとうございます。ご指摘のとおり、まわりの人を傷つける言動をしてしまう傾向が見られることは確かです。そのようなことが起きる度に指導をしておりますが、簡単に傷つく言動をしがちな児童の特徴として、自分の感情の起因を言葉で伝えることができず、感情をそのままぶつけてしまっているところがあると言えます。今の子どもたちの周りには、さまざまな情報が日常的にシャワーのごとく降り注いでいます。有益なものもあればその反対も存在しています。耳にした言葉の意味を深く考えず、簡単に他人を傷つける言葉を使ってしまう様子が見られます。そのような状況だからこそ、他人の気持ちを想像できる心の豊かさを大切にしていきたいと考えます。学校では、今後も引き続き心の教育の充実を目指し、「特別の教科 道徳」の授業を核として取り組んでいきますが、ぜひ、ご家庭におかれましても、人を思いやることの大切さについて親子で話し合う機会などを設けていただきたいと思います。

#### 11 いじめに関する対応

- ・ ときどき、お友達の言葉遣いが悪くキズつく事がある。うそをつかれて困る時がある。でも、先生に言えない。
- ・ いじめは家庭の問題だと思っているので、いじめた時はすぐに連絡してほしいです。

⇒「いじめに関する対応」について、学校では、年に3回「生活アンケート」を活用し、いじめの実態について調査を行っています。その調査結果に基づき、訴えのあった児童に対して聴き取りをし、解決に向けて組織的に対応をしております。しかし、ご意見にあるように、なかなか学級担任に言えない児童もいるかもしれません。もし、お子さんからいじめを疑うようなお話を耳にしましたら、ぜひ学校にお知らせください。疑わしいことでも、早急に対応することが大切です。いじめに関する対応は、学校と保護者が連携をし、取り組んでいくことが大切になります。大事になる前にぜひご相談ください。

## 12 あいさつの励行」

- ・ なし

## 13 楽しい学校生活

- ・ 初めての運動会やマラソン大会も楽しかったようで、録画したものをよく見えています。コロナ禍でも工夫しながら学校行事を行ってくださり、本当にありがたく存じます。行事を通して、子どもたちの成長を感じます。
- ・ 毎日楽しそうに学校に通学しています。担任の先生のこと、お友だちのことも大好きで、学校から帰ってくると本当に楽しそうに教えてくれています。親として、嬉しいばかりで、学校には感謝しています。
- ・ 学校生活での集団生活を通して、多くの経験、学びを支えてくださっていることに感謝しています。引き続きご指導の程よろしく申し上げます。
- ・ いじめや差別がないようこれからも子どもたちが楽しい学校生活を送れるようお願いいたします。

⇒子どもたちが「楽しい」と思える学校づくりに対して、肯定的なご意見を多くいただき、私たちが心がけてきたことをお子様の学校生活の姿を通し、保護者に伝えることができたことと安心しております。今後も引き続き子どもたちが「楽しい学校生活」を送れるよう、全教職員で力を合わせて取り組んでいく所存であります。

## 14 安心安全な学校づくり

- ・ グランドがでこぼこしているので綺麗に整備して頂きたいです。また、トラックのひもが切れている箇所があって引っ掛かって危ないので直していただきたいです。

⇒貴重なご意見ありがとうございます。グラウンド整備については、今年度中に整備できるよう対応していきたいと思っております。子どもたちが安全に校庭を走れるよう、早急に対応をしていきたいと思っております。なお、グラウンド整備後、校庭のトラックをできるだけきれいに保てるよう、保護者のみなさまにご協力いただきたい点がございます。授業参観やPTAの会議等で来校する際、校庭を駐車場として利用することがございます。その際、できるだけトラック内を走行せず、入っていただけると、グラウンドが荒れることを防げます。また、トラック内を走行する場合は、ぜひ速度を下げてください。よろしくようお願いいたします。

- ・ 学校の登下校の際に石を投げている子がいるらしく、キーホルダーが壊れてしまったりしました。子どもは嫌がっていませんが、心配です。

⇒ご心配をおかけしてしまい申し訳ございません。毎月、登校班の反省の時間を設け、地区ごとに登校の様子についてふり返りをし、改善点が必要な登校班はその時に指導をしております。ぜひ、お子さんの学級担任に相談してください。すぐに対応をさせていただきます。

- ・ プールに日陰をつくとよいかもです。

⇒貴重なご意見ありがとうございます。夏のプールサイドは、気温が高い日の日差しも強

く、確かに日陰が必要になります。本校では、太陽光パネルの下とテントを利用し、休憩時には日陰で休むよう指導をしています。また、授業の途中には水分補給を行っています。年々熱中症に関する対策が強化されていますので、今後も状況に応じ対応をしていきたいと思いをします。

#### 15 基本的な生活習慣

- ・ なし

#### 16 悩みや相談への親身な対応

- ・ いつも、少しの事でもご連絡を頂き、とてもありがたいです。すぐに対応してもらえる点も信頼につながっています。ありがとうございます。
- ・ すぐに相談をきいてくれる先生方ばかりで助かっています。

#### 17 保護者・地域との連携

- ・ コロナで活動が減っているので、地域交流があるかわからないです。

⇒昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、ほとんどの地域の方々との交流を行うことができませんでした。今年度は感染症防止の対策をしながら、地域の方々との交流をすることができました。例えば、2年生では地域の方とZoomをつかったり、来校していただいたりしてお仕事の様子を紹介していただきました。また、3年生は、日川地区の若手農業従事者のグループ「日果輪クラブ」の方々にブドウやモモについてお話していただきました。そして、6年生では、消防団の方々の指導の下、日川小伝統の大川倉横結操法を学ぶことができました。感染症対策を講じながらではありますが、できる範囲で地域の方々とふれ合う機会を設けることは、子どもたちにとって、とても意義のあることですので、今後も引き続き感染症予防に気をつけながら、地域交流を実施していきます。

- ・ 何かあったときにすぐに連絡や対応をしてくださるので安心して学校生活を見守ることができています。子どもも学校が楽しいといっているのも、温かな指導に感謝しています。
- ・ 細やかな指導と家庭へのご連絡をありがとうございます。おかげさまで安心して学校へ通わせられます。今後ともよろしく願いいたします。
- ・ 日頃の先生方のご指導に感謝いたします。今後ともよろしく願いいたします。
- ・ いつもお世話になりありがとうございます。コロナ禍の中大変ご苦労も多々おありかと拝察いたします。早いもので卒業のカウントダウンが始まりひとつずつ行事が終わっていく度、もうすぐ卒業なんだなあ感慨深いです。入学当時には何もできず、不安に思う事もありましたが、おかげ様で先生方の愛情深く温かなご指導のおかげでずい分と成長できたのではないのでしょうか。子育ての悩みにも、不安な事もお忙しい中、親身に対応して下さり感謝しかございません。本当にありがとうございます。まだまだ子どもですが引き続きよろしく願いいたします。

⇒保護者の皆様からのご理解ある、あたたかい言葉をいただきました。心より感謝いたします。子どもたちのために、さらによりよい日川小学校になるよう、教職員一同、今後の教育活動に力を入れてまいります。

⇒新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、様々な面からご協力をいただき、ありがと

うございました。学校では、子どもたちの安全・安心を守ることを第一に考え、新型コロナウイルス感染症への感染防止対策をしながら、できる限り通常の教育活動を実施していきます。ご理解・ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

#### その他

- ・ 夏休み過ぎの2学期に、様々な問題が生じてきて相談したいことも出てくるので、家庭訪問と個別懇談は昨年までと同様、それぞれ1学期と2学期に行ってほしい。
- ➡ 貴重なご意見ありがとうございます。家庭訪問では、お子さんの理解促進のため、家庭の様子や地域の様子などを知るとともに保護者のお考えを知る目的で、年度当初に計画をしております。また、個別懇談は、保護者とお子さんの成長や改善点について互いに確認し、今後の指導の参考とするために、一学期末に計画をしております。これらの機会以外にも、秋には学級懇談会もございます。家庭訪問や個別懇談などの機会に関わらず、学校に相談したいときには、いつでもご連絡ください。
- ・ うさぎがないので、その分お花をふやすとよいかもです。
- ➡ 貴重なご意見ありがとうございます。自然環境を整えることで、自然に対する思いやりの心を醸成することができます。きれいな花を増やせるよう、環境整備を検討していきたいと思います。
- ・ 病気等の対応に過敏すぎると思う。働く親からすると1～2年などの間は非常に困ることがある。
- ➡ 率直なご意見ありがとうございます。働いていらっしゃる保護者のみなさまにとって、お仕事の途中でお迎えに行くことは、とても難しいことと思います。そのようなご苦勞をかけてしまっていることに対して、心よりお詫び申し上げます。それと同時に、お子さんのため、お仕事の途中にも関わらず、お迎えに来てくださっている保護者のみなさまに、心より感謝申し上げます。今般の感染症に対する学校側の対応に、様々なご意見があるかと思いますが、「子どもたちの学びを止めない」ためにも、最悪の状況を考え、その時々状況に応じた対応を取らせていただいております。どうか趣旨をご理解いただき、引き続きご協力お願いいたします。

#### <運動会>

- ・ コロナ対策で判断が難しいと思いますが、運動会で表現のプログラムをプラスして欲しいです。他の学校に合わせて普段通りに近づけて行って欲しいです。
- ・ 日頃より大変お世話になっております。子どもは毎日楽しく学校に通わせていただいております。運動会も様々な感染症対策をしたうえでの工夫をありがとうございました。来年度からは対策をしながらもやはり遊戯を取り入れていただければクラスの団結力にも繋がる気がします。
- ・ いつも丁寧なご指導をありがとうございます。子ども達のために為に工夫や配慮して下さる姿に安心しております。また、課題点などもきちんと伝えてもらえる事で保護者として家庭での過ごし方に活かす事が出来ています。本当にありがとうございます。そんな思いの中、申し訳ないのですが、今年度、運動会のことでも2点気がついたことがあります。地区別のプラカード(座席)がちょうど視野の高さにある事と毛虫が多かったです。仕方のない事かな・・・とも思うのですが低く出来たり桜の下を避けるかお知らせしてもらえると・・・とも考えました。よろしくお願い致します。

➡ 貴重なご意見ありがとうございます。今年度も運動会開催に向けてご協力いただき心より感謝申し上げます。子どもたちの健康管理から当日の片付けに至るまで、保護者のみなさまの支えがあったからこそ、無事に運動会を行うことができました。運動会のプログラムについてですが、新型コロナウイルス感染症予防の対策を講じた上で、どのように運動会を実施していけるのか、全教職員で話し合いました。そこで、本校では、まず感染症対策を一番に考えること、参加する児童もその姿を見にいらっしゃる保護者も楽しめること、そして授業時間を確保することなどを重視し、今回のようなプログラムを編成しました。今年度の表現については、表現に費やす取組時間と当日の運営方法（時間や得点など）が課題となりましたので、割愛させていただきました。ご不満な点もあったかと思いますが、ご理解いただければ幸いです。今後の感染状況とも関係してきますが、来年度の運動会のプログラムを編成する際、いただいたご意見を参考にし、判断させていただきます。

# 令和3年度 学校関係者評価書

## 学校関係者評価委員会

- 1 実施日 令和4年2月21日（月） 15：30～17：00
- 2 会場 日川小学校 家庭科室
- 3 参加者 ○学校関係者評価委員（学校運営協議会委員）  
  
○学校職員  
校長・中村 雅彦 教頭・山宮 将仁 教務主任・小林みずほ
- 4 学校から提案された内容
  - (1) 学校の自己評価について（説明）
    - ①教職員による自己評価
    - ②保護者アンケート
    - ③児童アンケート
    - ④学校運営の改善に向けて
  - (2) 令和4年度日川小学校学校運営について

## 学校関係者評価（学校関係者からの質問・意見）

### 【学校経営・運営】

#### ◎豊かな心の育成について

- ・ 「よさを伸ばす教育」について、なかなか子供たちの中で、自信を持ってないという子がいるということがわかった。数値としては少ないが、今後どのように取り組んでいくのか。
- ・ 「いじめに対する対応」について、保護者と教職員との開きがあることが、グラフからわかる。これは、どうしてこのような開きになったのか、この結果をどうとらえているか教えていただきたい。
- ・ 自己肯定感の低さといじめは関係しているのではないかと思う。ふざけて言った言葉でも、自己肯定感が低い子にとっては、いじめに感じてしまうこともあるのだろうと思う。今後も、自己肯定感を高める、よさを伸ばす指導を続けてほしい。以前、スポ少にいたなかなか大きな声を出せない子に、声を出す役割をさせてことがある。少しずつ大きな声を出せるようになり、その子のがんばりを認める意味で賞状を渡しことがある。賞状をもらったときにとってもいい笑顔だったので、小さなことで構わないので、一人一人のがんばりを認めてあげられる工夫をしてほしい。
- ・ 以前聞いた話ではあるが、山梨市の未就学児の検診率が98%であることに驚いたところ、実はあとの2%が問題ですと言われたことを思い出した。決して安心でき

ないとも言っていた。だから、多くの子供たちが「自分にはよいところがある」と思っているが、そうではない子供たちに目を向け、決してその子供たちを蔑ろにせず、目をかけていく姿勢を持つことは大切である。先生方で該当する子供たちについて情報を共有したことはよい。

- ・ やはり、いじめを言えない子がいることを知っておくことが大切。受け持ちの先生だからこそ言えないのかもしれない。学校の先生方も、子供たちをどう教育しているか考えている。その先生方をサポートしていくのは、やはり保護者である。子供たちも学校でがんばろうとしていて、そのがんばりを先生方がサポートしている。その関係を大切にしていくことが幸せなことだと思う。そういった意味では、私たちのこの会、学校運営協議会が一助になればと思う。

## 【教育活動】

### ◎英語科について

- ・ 「楽しい英語の授業づくり」について、教職員と児童・保護者の開きは少ないのだが、何が原因でこのような結果になったのか、教えていただきたい。
- ・ 英語特区として行っていることなので、この項目（「英語の授業は楽しい」）の数値を上げてほしい。
- ・ 「楽しい」という問いかけはどのようなだろうか。
- ・ これまで保護者向けの参観で、英語の授業をしたことはあるのか。保護者が参観する機会を設けることも大切なので、パソコンで授業の様子を配信することも、英語の取り組み状況を伝え、理解を図れるのではないか。
- ・ 英語の授業にのってこないとあるが、授業として楽しいと思っている子供がどれだけいるのか。例えば、英語の授業については、中学校にいくと文法など様々な要素が出てくるが、小学校での授業と中学校の授業には結びつきがあるのか。今行われている小学校の授業がベースとなって、中学校の授業が行われるのか。それぞれの小学校で進度が違くと、中学校で行われる授業に影響があるのでは。どのような取り組みが行われているのか、わからない。おそらく親御さんにもわからないのでは。

### ◎家庭学習について

- ・ 家庭学習の習慣化について、保護者と差がある。家庭学習の習慣化は、わかる授業づくりにもつながる大切なものと思う。今後、家庭学習の習慣化について取り組んでいくのか。

## 【その他】

### ◎挨拶の励行について

- ・ あいさつに関する項目だけ、ほかの項目とは視点が異なる。ほかの項目は、目標に対して先生方がどうアクションを起こし、それをどう評価するかを聞いている。あ



いさつに関する項目は、先生方が子供たちを評価している項目なので、違う。

- ・ あいさつについて、教職員も児童、保護者もともに低い。昔の子より声をかけてくれることが少ないように感じる。
- ・ この前、畑で仕事をしていると、黄色い帽子をかぶった小学生が通った。そのとき、大きな声であいさつをしてくれ、笑顔でこちらの声かけにも応えてくれた。近所の子どもということもあるかと思うが、中学校3年生の子もニコニコ笑顔であいさつをしてくれた。もう少し評価してもよいと思う。

## ◎学校評価について

- ・ この結果を、保護者にはどのような形で伝えているのか。記述したものもすべてなのか。これまでに学校評価の結果について保護者からのフィードバックはあったのか。気になったのは、校長先生が示された今年度のグランドデザインをもとに、この学校評価の項目を考えられたということだが、評価項目の中に、もっと本校としての特色が伝わるような内容があってもよいのではないか。私たちに見えてこない取組もあるので、学校評価で意見をもらえるよう、評価項目自体を工夫してもよいのではと思う。
- ・ 17項目のうち8項目についての保護者の記述がない。なにもないということは、どういうことなのか。保護者の気持ち、考えや思いを引き出す工夫が必要である。もしかしたら、なにもない項目については、見えていないのかもしれない。ぜひ、発信力を高めてほしい。
- ・ 保護者の記述した内容に、感謝の言葉がけ（「貴重な・・・」「率直な・・・」）からはじまっている。これは、大切なことではないかと思う。丁寧な対応の文章になっているので、いいのではないか。黙っている人も意見がないから黙っているのではない、言ってもしょうがないと思っているのかもしれない。こうして意見を書いてくれたということは、たとえ耳の痛い話でも、ありがたいと思うことが大切である。
- ・ 保護者の記述に対する文面を読み、まず保護者の気持ちに寄り添って共感して、学校の対応などをかいていたので、安心して読ませてもらった。このような姿勢は大切である。
- ・ 自分の意見を言いたくなってしまうが、まずは傾聴して気持ちに寄り添うことが大切であり、そのような姿勢で保護者の意見に対応することで、あたたかく受け止めてくれたと、保護者は思う。この姿勢での文章となっていて、よいと思う。